

一般質問

・市内企業の人手不足について



石川貴広

**問** 人口流出防止と流入増加推進のためにも市内企業の求人と求職者を適切にマッチングさせる施策が重要と思いますが、これまでの取組の成果に対する所見と今後の展望を伺う

**答** 本市では、市内の中小企業・小規模企業の経営環境や雇用状況を把握するための実態調査を行いまして、その調査結果をもとに令和4年度に御前崎市中小企業・小規模企業振興基本計画を策定し推進しております。人材確保に向けた取組としましては、大学などに進学した地域の若者を地元企業の就業に就職を促すために、リターン就職応援プロジェクトというものを推進しております。年々関心が高まっており、令和6年5月末時点で58人の登録をいただいております。今後、市内や近隣市の企業へ就職することによって、事業成果が表れてくるものと期待しています。また、ハローワークと連携し、高校2年生を対象とした企業説明会を毎年実施しております。

ます。令和5年度は、小笠地区の6校から214名が参加し、地元企業のPRの場として活用されております。

**問** 人手不足以外にも、情報発信の仕方など多くの中小企業に共通する課題については、部課を超えて広く取り組むほうが良い効果が見込まれることもあると思いますが、市長の意見を伺う

**答** 様々な異なる業種に対する需要と供給のマッチングについて、いろいろな情報を聞く場を広く取って周知することは非常に効果があると思います。情報発信する方法論も含めて、そのような機会をうまく作ることが雇用の促進につながると思います。同時に、人手不足の企業と働きたいと思っている人が多くいる企業とのバランスが難しくなってきたり、どういう働き方が一番良いのかを総合的に見ていく時期にきているのかもしれない。根本的な部分も含めて今後検討していきたいと思っております。

一般質問

・農業の現状認識と将来展望について  
・若者のスポーツ振興とその施設について  
・海岸保全について



村田明彦

**問** 農業の経営環境は厳しく、離農者・耕作放棄地が増加しています。当市における農業の現状認識と将来展望について伺う

**答** 農業の経営環境は、大変厳しい状況です。特に農業者の減少が顕著で、20年間で6割減です。一方、経営耕地面積が約4割減に留まったことは、農家の皆様が集約化を進めたことが大きな要因だと思います。農業人口の減少に歯止めをかけることは容易ではなく、担い手への支援の継続や基盤整備を推進することで安定的な農業経営を維持できるように支援してまいります。

催され、大盛況でした。このような施設がもたらすメリットは、観光及び交流人口の増加、市民の健康促進、異世代交流、地域コミュニティの一体感を醸成する施策と思われ、スポーツを通して定住化の推進に努めます。新たなスポーツ施設の整備は、費用など難しい状況ですが、民間の力も活用しながら力を注いでまいります。

**問** サーフィンやスケートボードなどの施設の建設・整備と若者のスポーツ振興について、どのように考えているか伺う

**答** 東京2020オリンピックでの日本の若者の活躍により関心が高まったと感じます。昨年8月には、マリナーパークでスケートボードなどの体験会「アーバンスポーツキャンプin御前崎」が開

**問** 近年、当市の海岸が浸食され、ごみで汚れています。世界的にも類いまれな当市の海岸を浸食や漂着ごみから守るための取組について伺う

**答** 海岸浸食については、遠州盟会で国県に要望しており、国交省も天竜川流域の土砂を下流に還元する計画をしています。漂着ごみについては、県補助金を活用して毎年撤去を実施し、各種ボランティアの皆様も定期的にごみ拾い活動を実施しています。今後も官民一体となって活動を継続し、美しい海岸保全に努めてまいります。